

新潟県の企業と新潟大学との 医工連携事業 第2号製品 関節リウマチケア用と巻き爪用の 爪切りが完成し、4月から発売します。

新潟県の企業と新潟大学との医工連携・産学連携の成果の第2号として、「関節リウマチケア用爪切り」と「巻き爪用爪切り」の2つの製品が完成しました。2022年3月5日、「第28回新潟リウマチのケア研究会」に出席した医師とコメディカルスタッフに対し、開発に協力した新潟大学医歯学総合病院整形外科の近藤直樹病院准教授が新製品の発表を行ない、「販売されたらぜひ使いたい」と声があがっていました。



爪切りの開発は、関節リウマチの患者と家族やケアをする人のニーズを集めて、株式会社マルト長谷川工作所（三条市）に既存品の爪切りの改良を依頼。患者の足指の爪は、重層化し巻き爪形成（陥入爪）等の変形を呈しやすく、化膿して周囲の皮膚が炎症をおこします。普通の爪切りでは切りにくく皮膚を傷つけやすいという悩みがありました。

そこで、同社の爪切りで処置できることを確認し、近藤病院准教授のアドバイスをもとに試作と評価を約1年間にわたって実施。刃先を丸め、角度を工夫し、重層爪をそぎ切る爪切りと巻き爪ケアの爪切りが完成しました。「使いやすく、気持ち良く切れてやみつきになった」などの好評の声を得て、4月からいよいよ一般販売を開始します。

2021年3月に発売した第1号製品「新型簡易トイレ」も順調に受注を獲得。これらの他に11件の製品開発が進行中です。今後も医工連携事業参加社76社と本学とで事業を推進していきます。



深谷清之特任教授
（新潟大学地域創生推進機構
ビジネスプロデュース室）

近藤直樹病院准教授
（新潟大学医歯学総合病院整形外科）

長谷川直哉代表取締役社長
（株式会社マルト長谷川工作所）

第1号製品(簡易トイレ)が ジャパン・ツバメ・インダストリアル デザインコンクール2022で

JAPAN TSUBAME INDUSTRIAL DESIGN CONTEST 2022

準グランプリを受賞



ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2022
表彰式の様子



新潟大学と協同組合三条工業会、三条商工会議所、燕商工会議所は、医工連携による共同研究開発事業を平成31年2月に開始しました。大学院医歯学総合研究科の寺井崇二教授が専門家の立場から、製品開発、ニーズ調査、病院での評価等において指導・支援しています。

そして、第1号製品の簡易トイレ(SIMPLE TOILET)を令和3年3月に発表。新聞4紙、テレビ局2社、地元ラジオ、さらに共同通信社を通じて全国18地方新聞にも記事が掲載され、病院や介護施設のほか、個人の方からも問い合わせをいただいています。

簡易トイレを製造した株式会社アベキン(燕市)はOEMとしてデザイン性の高い製品を製造してきましたが、自社開発製品として初めて「第45回ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2022」(燕市物産見本市協会

主催)に出品。【準グランプリ経済産業省製造産業局長賞】を受賞し、3月25日、鈴木力燕市長から表彰を受けました。

この賞は、オリジナルデザインであり、かつ、デザイン・品質・機能面で優れた市場性のあるもの等の様々な審査基準がある、受賞が難しい賞であり、その分野の専門家の審査により判定されます。

これまで医工連携製品の受賞歴はなく、この簡易トイレが医療・介護などの現場に必要な機能を備え、かつ、利用者や補助者等から見てデザインの面でも優れた製品として受け入れられている点を具備していると考えられます。

今後は受賞も1つのきっかけとして、医工連携事業で製品を開発し、販売までの支援に取り組めます。



真の強さを学ぶ。

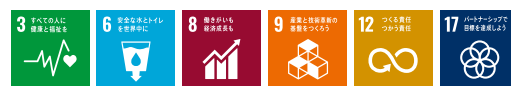
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

【医工連携広報誌】問合せ先
新潟大学地域創生推進機構ビジネスプロデュース室
bp@ccr.niigata-u.ac.jp
<https://www.ircp.niigata-u.ac.jp/>

協同組合 三条工業会 三条商工会議所 燕商工会議所

【協力】日刊工業新聞社 新潟支局

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



持続可能な社会の実現を目標とするSDGs達成に向けて、課題解決に取り組んでいます。